給食だより11月号 常知4年10月31日

令和4年10月31日

○@ **^**^Q ←@ **!**bQ ○@ **!**^Q ←@ **!**bQ

11 月号

日ごとに秋が深まってきました。朝・晩の冷え込みなど、これから一日の気温の変化が大 きくなってきます。衣服の脱ぎ着をこまめにして、体温の調整をしましょう。また外から帰 ってきたら、手洗い、うがいを忘れずに、バランスの良い食事をこころがけて、風邪予防の ために体力と免疫力をつけるようにしましょう。

☆11月24日は和食の日☆

11月24日は、和食の日です。平成25年に「和食:日本人の伝統的な食文化」がユネ スコの世界遺産に登録されました。無形文化遺産とは、芸能や伝統工芸技術などの形の無 い文化のことです。和食の食文化を大切にし、みんなで受け継いでいきましょう。

〈和食の特徴〉

その持ち味の尊重



える栄養バランス



1 多様で新鮮な食材と 2 健康的な食生活を支 3 自然の美しさや季節 4 正月などの年中行事 の移ろいの表現



との密接な関わり



☆和食の味の素になる「だし」☆

だしとは、食品を水で戻したり煮たりして、うま味成分を取り出した液体のことです。だ しは、料理にうま味や香りを加え、素材のもつおいしさを引き出してくれます。

〈日本のだしに使用する主な食品〉



こんぶ



にぼし





和食のだしに使用する食品は水で戻してから使用するため、長く煮込まなくてもうま味 成分を取り出しやすいのが特徴です。また、だしを使うと塩を少し入れただけでもおいし く感じられ、塩分を減らすことができます。給食では、料理に合わせてかつお節等、種類 を変えて、だしのうまみを感じることができる工夫をしています。

だしをとった後のかつお節やこんぶで、佃煮や ふりかけなどを作ることができます。



☆感謝をして食べましょう☆

11月23日は、勤労感謝の日です。この日は「勤労を尊び、生産を祝い、国民がたがいに感謝しあう」日です。給食が出来上がるまでには、生産者や食べ物を運んでくれる人、作ってくれる人など様々な人々が関わっています。給食を残さずおいしく食べて、感謝の気持ちを表しましょう。

「いただきます」

食材となる動植物の命をいただきます、という意味があり、命をいただくことへの感謝の気持ちが込められています。



「ごちそうさまでした」

食べ物を育てたり、運んだり、調理してくれたり、 食に関わるたくさんの人 たちへの感謝の気持ちが 込められています。

~11月の献立について~

2日(水)「赤飯」~開校記念日~

開校記念日をお祝いして、赤飯を炊きます。昔から、赤いものを食べると悪いことを追い 払う力がつくと言われています。これからもぴかいちキッズの皆さんが、元気で過ごせる ように、願いを込めて作ります。

8日(火)「大豆ひじきごはん・ししゃもの磯辺揚げ」 ~いい歯の日給食~

11月8日は、「いい歯の日」です。1030回を目安にしっかりかんで食べるメニューを取り入れました。

15日(火)「だいこん菜めし・大蔵大根のおでん」 ~江戸東京野菜を食べよう給食~ 江戸東京野菜「大蔵大根」を使った給食です。今回使用する大蔵大根は、給食用にあらか じめ必要量を種まきの時期に注文し、収穫される 11 月のみ使用できる特別なものです。 大蔵大根の特徴は、頭からしっぽまで同じ太さで、煮物やおでんに適しています。今回は、「葉」を菜めしに、「根」をおでんにします。

22日(火)「ゼリーフライ」 ~埼玉県の郷土料理~

ゼリーフライはじゃがいも、ねぎ、おからなどをよく混ぜ、素揚げにした埼玉県の郷土料理です。小判の形をしていることから、「銭(ぜに)フライ」と呼ばれ、それが「ゼリーフライ」という言葉に変わっていったと言われています。

給食費引き落としのお知らせ

いつも給食活動にご協力いただき、ありがとうございます。

給食費の引き落としは11月4日(金)となります。前営業日までに忘れずに入金していただきますよう、ご協力よろしくお願いいたします。